

## 「あかり AGAIN」

熊本大学工学部物質生命化学科1年

135-T1832 山下大貴

「あかり」と聞いて思い浮かぶのは蛍光灯や、テレビの光、またホテルの光いろいろあります。よく考えてみると、世の中にあかり、満ちあふれているものだと感じました。そして独創的にならて考えた結果出てきたのが「笑顔」と「クリスマスツリー」でした。だから名前は「スマイルツリー」です！

ネーミングはとても適当な感じがしますがそこには自分なりの大事な思いが込められています。まずクリスマスについて想像してみてください。街中がキラキラ明るい光につつまれていて、家族や友達、恋人達がたくさんいます。私のイメージではみんな笑顔です。その空間の中にときは光輝く大きなツリーがあります。そのあかりはまるで人を引きつけているようです。すごくムカ想的です。しかしそれは見た目上のツリーでしかありません。私が思う本当の「あかり」というのは笑顔です！辛いことがあっても笑顔があれば大抵のことはやっていけます。最近の世の中をしてみるとこの笑顔がたりないような気がします。今だになくならないうテロや軍争、働きすぎによる過労死、いじめ…、そこに温かに笑顔があれば救われる人は沢山いると僕は思います。

### 説明

クリスマスツリーは人を集めて幸せにする象徴というイメージです。また木は生命を表し、次に生まれてくる生命は小さい木で表しています。じょうろはこの木に笑顔の水をあげること、すなわち人と人の掛け合いを表しています。丸や三角などは国籍や人種などさまざまな人が一緒だということを表します。笑顔文字はスツバリ笑顔です。笑顔にも個性があって温かみを感じさせます。最後にハートですが、これは人と人との出会いのあかりを表します。笑う時は大抵たれかかそばにいます。一人で笑っているなんて何か不気味です。人と人がこのツリーに引きつけられて出会い、そこに笑顔が生まれる。そしてこのツリーはより明るさを増す。その時、忘れかけてたあかりを取り戻すのです。それが「あかり AGAIN」だと思っています。

スマイルツリー

